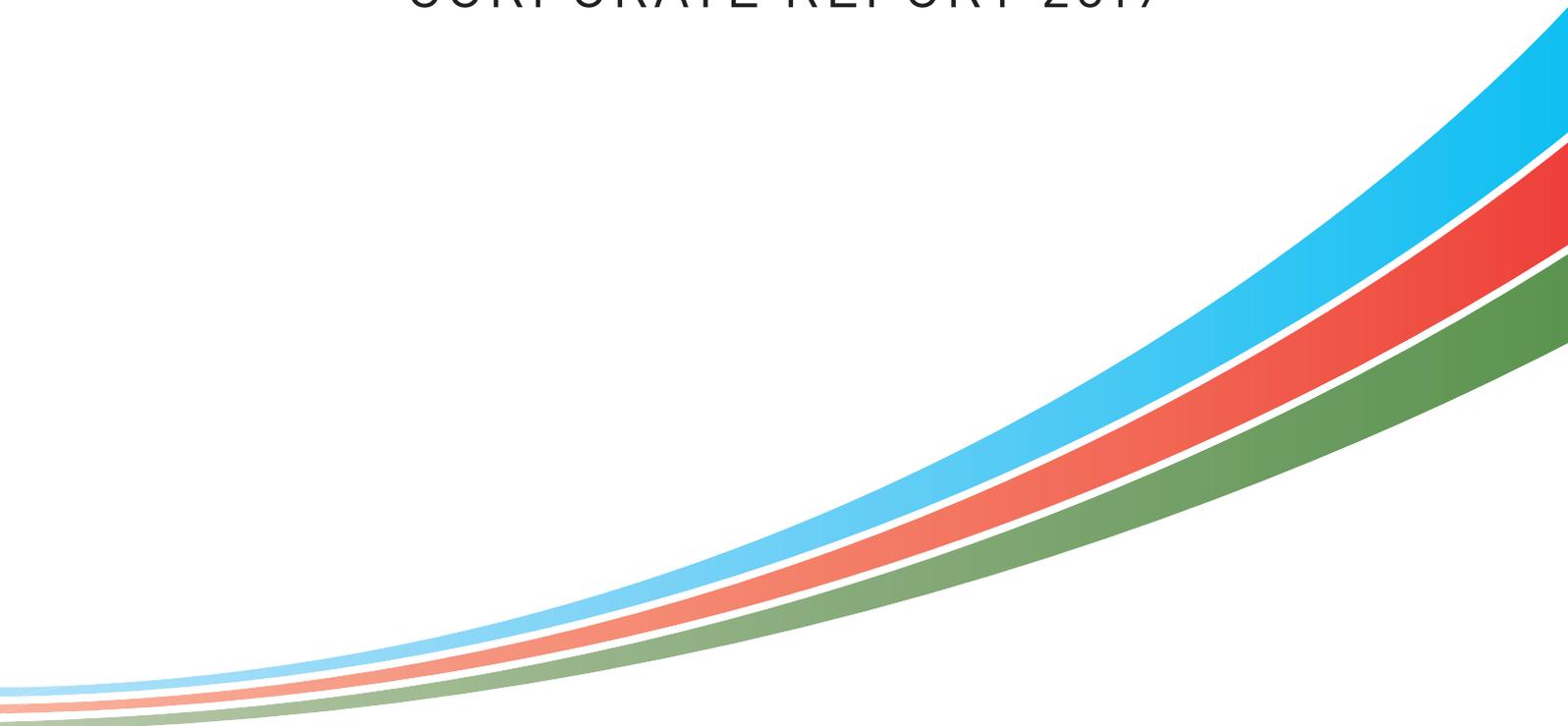


# CORPORATE REPORT 2019



## この手で守る自然と資源

## Contents

会社概要 ..... 01

### アサヒホールディングスを知る

トップメッセージ ..... 02

アサヒウェイ ..... 03

第8次中期経営計画(2018-2020年度) ..... 04

アサヒホールディングスの歩み ..... 06

アサヒホールディングスの価値創造 ..... 08

アサヒホールディングスのSDGs ..... 09

### アサヒホールディングスの事業領域

3つの事業領域 ..... 10

事業紹介 ..... 12

貴金属事業 ..... 12

環境保全事業 ..... 18

ライフ&ヘルス事業 ..... 22

### ESGの取り組み

#### G 企業統治

コーポレート・ガバナンス ..... 26

リスクマネジメント ..... 28

役員紹介 ..... 29

#### E 環境

アサヒホールディングスの環境貢献 ..... 30

環境マネジメント ..... 32

地球温暖化防止への取り組み ..... 33

#### S 社会

健康経営・ワークライフバランス ..... 34

安全な職場づくり ..... 34

ダイバーシティ・インクルージョン ..... 35

人材育成 ..... 35

ステークホルダーとのコミュニケーション ..... 36

グループ会社体系図 ..... 39

財務・非財務ハイライト ..... 40

#### グループシンボルマークについて

スパイラルをモチーフにしたシンボルマークは事業特徴である循環による環境保全を追求していくという企業姿勢や継続性、成長性を意味しています。また、上下に伸びる矢印は先進的で躍動的な企業であることを表現しています。青・赤・緑の3色はそれぞれが「清らかな水・空」、「人間が活動していくエネルギー」、「美しい自然や森」を象徴しています。



### アサヒホールディングス株式会社

創業：1952年7月  
 設立：2009年4月  
 資本金：7,790百万円  
 代表取締役：寺山 満春(会長) 東浦 知哉(社長)  
 本社：〒650-0001 兵庫県神戸市中央区加納町4-4-17  
 ニッセイ三宮ビル16F  
 TEL:078-333-5633 FAX:078-333-5681  
 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12  
 サビアタワー11F  
 TEL:03-6270-1833 FAX:03-6270-1859  
 従業員数(連結)：2,042名(2019年3月31日現在)  
 U R L : <https://www.asahiholdings.com/>



神戸本社



東京本社

### アサヒプリテック株式会社

事業内容：貴金属リサイクルおよび産業廃棄物処理  
 代表取締役：中西 広幸  
 本社：〒650-0001 兵庫県神戸市中央区加納町4-4-17  
 ニッセイ三宮ビル16F  
 TEL:078-333-5600 FAX:078-333-5681  
 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12  
 サビアタワー11F  
 TEL:03-6270-1820 FAX:03-6270-1825  
 U R L : <https://www.asahipretec.com/>

#### 国内拠点

研究所：テクノセンター(神戸)  
 工場：埼玉、長野、尼崎、神戸、テクノセンター、愛媛、北九州、北九州ひびき、福岡  
 営業所：札幌、青森、仙台、新潟、北関東、関東、横浜、甲府、長野、静岡、名古屋、北陸、阪神、神戸、岡山、広島、四国、北九州、福岡、鹿児島、沖縄

#### 関係会社

ASAHI G&S SDN. BHD.(マレーシア) 韓国アサヒプリテック株式会社

### アサヒライフ&ヘルス株式会社

事業内容：生活および健康関連機器・設備の製造・販売・施工  
 代表取締役：大槻 利幸  
 本社：〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12  
 サビアタワー11F  
 TEL:03-6895-1870 FAX:03-6270-1839  
 U R L : <https://www.asahilh.com/>

#### 関係会社

株式会社フジ医療器 株式会社インターセントラル  
 継永工業株式会社 Fujiiryoki, Inc.(米国)

### ジャパンウェイスト株式会社

事業内容：産業廃棄物処理およびその他の環境保全  
 代表取締役：奥村 恵一  
 本社：〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12  
 サビアタワー11F  
 TEL:03-6270-1828 FAX:03-6270-1839  
 U R L : <https://www.japanwaste.co.jp/>

#### 国内拠点

埼玉、横浜、湘南、神戸西

#### 関係会社

JWケミテック株式会社 日本ケミテックロジテム株式会社  
 JWガラスリサイクル株式会社 株式会社太陽化学  
 富士炉材株式会社

### アサヒアメリカホールディングス株式会社

事業内容：北米金・銀精錬  
 代表取締役：東浦 知哉  
 本社：〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12  
 サビアタワー11F  
 TEL:03-6895-1900 FAX:03-6270-1859

#### 関係会社

Asahi Refining USA Inc. Asahi Refining Canada Ltd.  
 Asahi Refining Florida Inc.

(2019年4月1日現在)

【編集方針】  
 本レポートは、アサヒホールディングス株式会社の事業の全体像や考え方を中心に、事業を通じて社会的課題にどう立ち向かい、どのような価値を生み出していくのかを、広く深く、皆さまにご理解いただくためのコミュニケーションツールとして作成しています。また、当社グループの具体的な事業内容や取り組みについても紹介することで、会社案内としての役割も兼ね備えています。

【対象期間】  
 2018年4月1日～2019年3月31日

【対象組織】  
 原則として、当社と連結子会社を含むグループ全体を対象としています。

【数値とグラフに関して】  
 記載の数値は、億円未満については四捨五入をしているため、個々の数値と合計が一致しない場合があります。  
 2016年度よりIFRSを適用しており、各項目名は基本的にIFRS適用後の表記としています。  
 また、前年の2015年度よりIFRS基準での数値にて記載しています。

【将来見直しに関する注意事項】  
 本レポートには、当社グループの過去と現在の事実だけでなく、将来の計画や見直し、経営計画に基づいた予測が含まれています。これらは、記述した時点で入手できた情報に基づいて作成しています。したがって、実際の業績や活動結果は、将来の経営環境の変化によって大きく異なる可能性があります。

## トップメッセージ

第8次中期経営計画の初年度である2018年度は、初年度の連結ベース営業利益として目標に掲げていた140億円を超える結果となり、2年連続して過去最高の業績となりました。

2019年2月、貴金属事業の新たな事業領域である金貨やコインなどを製造するミント事業を精錬事業と併せて経営する、米国フロリダの新会社が当社グループに加わりました。2018年4月、環境保全事業セグメントの主力事業である廃棄物焼却分野において、新型焼却炉が鹿児島県で稼働しました。これらは、中期経営計画の基本方針「次代を支える新たな事業基盤の構築」の実現です。

中期経営計画では「無形資本の充実」を掲げています。「無形資本」の主たる部分を占める「人的資本」への投資は、従来から広範囲且つ多角的な制度をきめ細かく実施してきました。具体的には、「リフレッシュホリデー」「インターバル勤務」「フレキシブル勤務」「育児・介護短時間勤務と休暇」「高度健康診断」「職場の小集団活動」「選抜派遣型プログラム等の各種の研修」「自己申告」「社員意識調査」「多面評価」「内部通報」等々の制度です。昨年度は、これらの制度の充実や運用の更なる進化を実践し、「成果主義」と「公平・公正な評価」と共に「社員の満足度追求」を目指しました。

2018年5月、世界各地の社員約1,400名が一堂に会した社員総会を開催しました。その席上で新たに「SDGs大賞設置」の発表をしました。当社は3つの事業領域を持ち、そのいずれもが地球規模の社会的課題「地球のサステナビリティの解決」に直接的な貢献をしています。また、これまで個人やグループ単位で、業務とは関わりなくボランティア活動をしている例が多くありました。それらの活動の更なる推進を図る目的で、この大賞制度を設置しました。2021年5月の全社員が出席する社員総会において、良い事例を発表し、優秀な個人やグループに対して「SDGs大賞」として表彰します。

2019年度は世界的に政治や経済の不安定な状態が継続すると思われまます。当社グループもその影響を受け、事業環境は厳しい局面を迎える可能性があります。しかし「革新と挑戦」の精神で、全社一丸となって事業環境の変化を克服しながら、事業の成長とSDGsへの貢献を両立したいと願っています。

引き続き、アサヒホールディングスグループへのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年6月  
代表取締役会長（CEO）

手山 滋春



# アサヒウェイ

“この手で守る自然と資源”

アサヒホールディングスグループは、わたしたちの信条、企業として大事にすること、社員として守ること、行動指針などを、グループ社員が共有すべき価値「アサヒウェイ」として定めています。取締役および経営幹部社員は、当社グループの持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目的とした「アサヒウェイ」を率先して実践します。

### わたしたちの信条

わたしたちは、  
限りある資源を大切にし  
地球の環境を保全し  
人々の健康をサポートします。

### わたしたちが社員として心がけること

革新と挑戦  
安全最優先  
高い品質の保持  
素早い報告（特に悪い情報こそ早く報告）  
信頼と絆

### わたしたちが企業として大事にすること

#### ステークホルダーとの協調

株主・顧客・取引先・社員・地域社会・自然環境に配慮し、信頼が得られる活動を実践する。

#### 攻めと守りのバランスがとれたコーポレートガバナンス

意思決定の透明性を確保し  
リスクを適切に管理しながら  
成長戦略や事業改革を果敢に推進する。

#### 利益なくして成長なし

企業グループ全体の成長と利益を通して  
長期的な株主価値の向上を実現する。

#### 信頼されるコーポレートブランド

クリーンな企業グループであると広く認知され  
長く信頼されるブランドを維持する。

#### さまざまなリスクへの対応

職場の日常の安全性の確保や業務事故の防止を徹底し  
各種災害への備えを確立する。

#### 社員のモラル向上

社員の仕事と生活全体との調和を重視し  
働く環境や労働条件を継続的に向上する。

#### 強い使命感と高い倫理観

社員一人ひとりが仕事に誇りを持ち  
幹部社員は強い使命感と高い倫理観を持つ組織とする。

#### グッド・ピープル・カンパニーの継承

善なる社員を長期に亘って大事にする。  
善なる社員とは、利己主義的ではなく  
自他の共栄と事業の発展を願う社員である。

### アサヒホールディングスグループ 10の規則

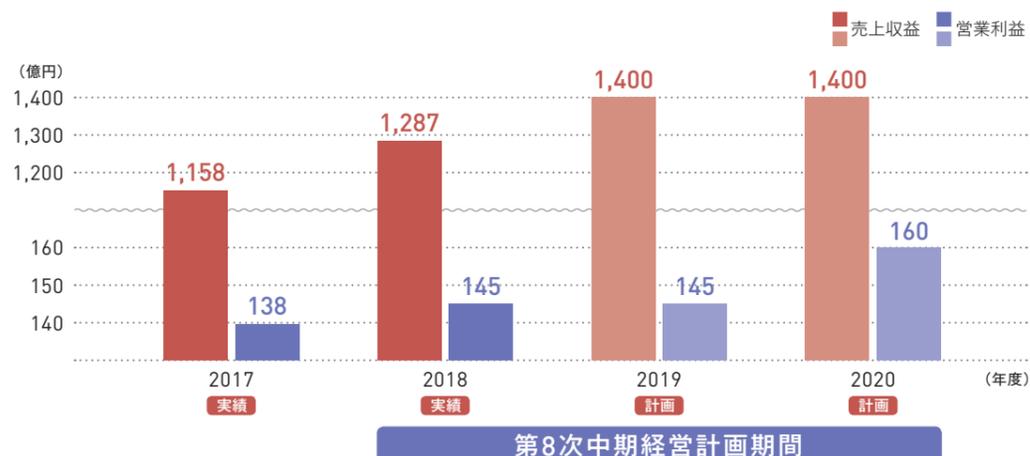
- 第一則 いかなる法令や規範にも違反しない
- 第二則 社会通念や自己の良心に反することを行なわない
- 第三則 年齢・性別・国籍・人種・宗教などに基づく差別を行なわない
- 第四則 業務に関連した場所で政治活動や宗教活動を行なわない
- 第五則 お客様に不誠実な対応をしない
- 第六則 取引先の決定において公平な競争や最適な選定を妨げない
- 第七則 業務上知りえた情報を外部に漏洩しない
- 第八則 個人的な利得につながる食事や贈答品を提供しないし受け取らない
- 第九則 個人や自ら所属する組織より全体最適を優先する
- 第十則 現場・現物・現実を重視する

# 第8次中期経営計画(2018-2020年度)

## スローガン

独創性と成長を追求するグローバル企業へ

## 2018年度実績、業績推移



## 第8次中期経営計画の初年度を終えて

次の3つの観点から、第8次中期経営計画の方針に沿った最新の進捗事例を紹介します。

1つ目は「人的資本の拡充」です。

外部教育機関を活用した「選抜型教育派遣プログラム」や「公募型MBA取得プログラム」を開始し、経営人材の育成に努めています。また、国際的な事業や新規の事業に積極的に人材を投入し、グローバルに活躍できる人材の開発を進めています。

2つ目は「RPAを活用した業務改革」です。

各部署から業務改革のアイデアを集め、その中から費用対効果が高いものを優先的に推進しています。その具体的な成果として、RPAを活用した「データ集計の自動化」や「WEB情報収集の自動化」を2019年度中に実現できる予定です。

3つ目は「SDGsの積極推進」です。

「アサヒホールディングスSDGs重点テーマ」として6つのテーマを選定しました。その内容を9ページに記載しております。

第8次中期経営計画の目標の達成に向けて全力で取り組んでまいります。今後ともなにとぞ変わらぬご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

2019年6月  
代表取締役社長 東浦 知哉

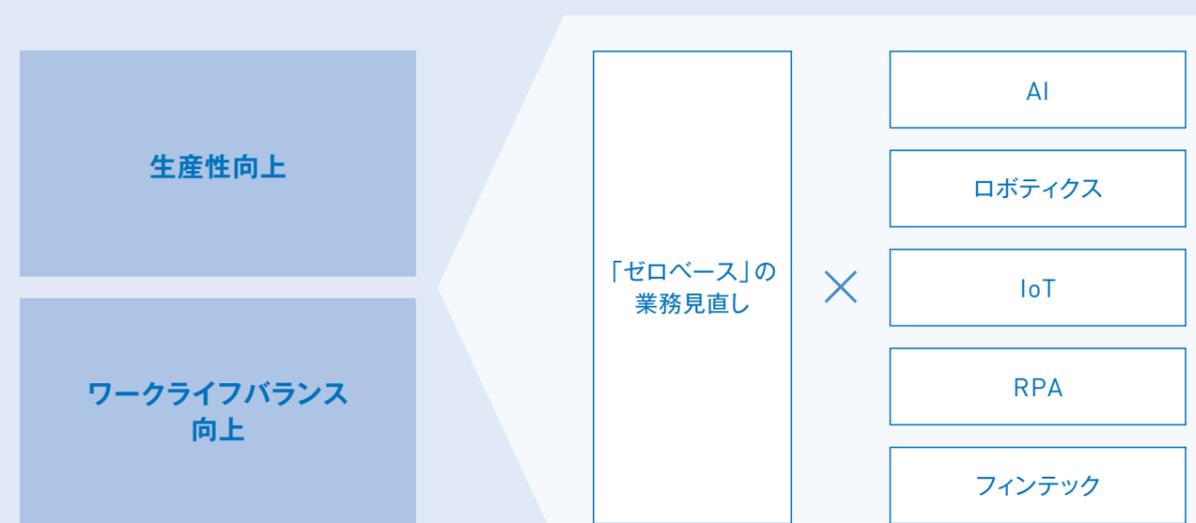
## 基本方針



### 1. 次代を支える新たな事業基盤の構築



### 2. 情報処理技術を活かした生産性向上と働き方改革



### 3. グループ全社員によるアサヒウェイの共有

# アサヒホールディングスの歩み

1952	大阪市城東区に「朝日化学研究所」を創立	1999	店頭市場に株式公開
1964	株式会社へ組織変更	2000	東京証券取引所第二部に株式上場
1974	福岡営業所開設 以降全国各地へ営業所を展開	2002	東京証券取引所第一部に株式上場
1978	神戸市東灘区に本社社屋を竣工	2009	持株会社「アサヒホールディングス株式会社」を設立
1997	「アサヒプリテック株式会社」に社名変更		
1998	本社機能を神戸市中央区に移転 研究開発施設テクノセンターを神戸市西区に開設		

2012	アサヒウェイを制定 東京証券取引所ESG銘柄に選定される
2015	監査等委員会設置会社へ移行 指名委員会と報酬委員会を設置 業績連動型株式報酬制度を導入
2016	IFRS（国際会計基準）を適用
2017	新株式発行等による増資を実施
2018	アサヒウェイを改訂



## 第1幕 1952年 創業～

## 第2幕 1999年 株式公開～

## 第3幕 2012年 新たな発展へ～

**貴金属事業**

1952	写真定着液からの銀のリサイクル事業を開始
1975	小型電解回収装置「プラタ」を開発
1982	デンタル分野からの 貴金属リサイクル事業を開始
1984	メッキ分野からの 貴金属リサイクル事業を開始
1986	電子材料・宝飾分野からの 貴金属リサイクル事業を開始 小型電解金回収装置「ジバング」を開発
1994	ASAHI G&S SDN. BHD.を 設立（マレーシア）
1998	歯科用合金製造を開始

2003	自動車触媒事業を開始
2006	韓国アサヒプリテック（株）を設立
2011	Eスクラップ事業を開始 精密洗浄事業を開始



**環境保全事業**

1972	写真廃液の無害化処理施設を 神戸工場に設置
1975	神戸市の産業廃棄物処理業許可を取得 （有害物を含む写真廃液無害化処理）
1978	環境計量証明事業所の登録
1990	写真廃液以外の 環境保全事業を開始



2004	日本ケミテック（株）がグループに加わる
2006	（株）太陽化学がグループに加わる
2007	アサヒプリテック北九州事業所を設置
2008	ジャパンウェイスト（株）を設立 富士炉材（株）がグループに加わる
2009	JWガラスリサイクル（株）が グループに加わる
2010	ジャパンウェイスト横浜事業所を設置 エコマックス（株）がグループに加わる

2015	英Johnson Matthey社から 北米（米国・カナダ）の金・銀精錬事業を買収し、 Asahi Refining USA Inc.と Asahi Refining Canada Ltd. を設立
2019	Asahi Refining Florida Inc.を設立

2017	日本ケミテックと エコマックスを ジャパンウェイストに統合
------	-------------------------------------

グループ企業の  
地域拠点を  
統合（12拠点）

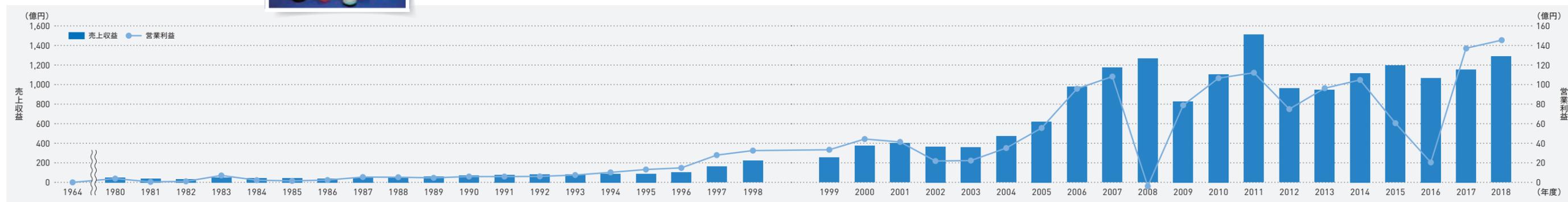
**ライフ＆ヘルス事業**

2012	（株）インターセントラル がグループに加わる
2014	紘永工業（株）がグループに加わる （株）フジ医療器がグループに加わる ライフ＆ヘルス事業を新たなセグメントとする
2018	アサヒライフ＆ヘルス（株）を設立 Fujiiryoki, Inc.（フジ医療器の米国子会社） を設立

## 歴史の中で育んだアサヒの強み

- 変化への対応力
- 事業を再生する経営力
- 業界をリードする「独自の技術」
- 信頼されるアサヒブランド
- モラルの高い社員集団
- グローバルに広がるネットワーク
- ステークホルダーとの良好な関係
- 健全な財務体質

## 業績推移



# アサヒホールディングスの価値創造

## 3つの事業領域

わたしたちは、限りある資源を大切に、地球の環境を保全し、人々の健康をサポートします。



## 価値創造を支える8つのファクター

「革新と挑戦」の歴史の中で育んだ強み

### 変化への対応力

事業環境の変化を敏感に察知し、柔軟な発想と果敢な行動力で、創業以来、未知の事業分野にチャレンジしてきました。ライフサイクルが衰退期を迎えた事業分野からは素早く撤退し、新たな事業分野では独創性のあるビジネスモデルを築いて、成長を維持し続けています。

### 業界をリードする「独自の技術」

高度な分析力と高い効率で貴金属を回収する技術、さまざまな産業廃棄物を適正に処理する技術、顧客のニーズを的確に捉えて商品開発を進める技術を誇ります。不断の研究開発により、各事業分野で“独自の技術”を磨き続けています。

### モラルの高い社員集団

全社共通の価値観である“アサヒウェイ”を共有し“信頼と絆”を大切に、“革新と挑戦”のマインドに満ちた社員が成長を担ってきました。多様な人材を受け入れ、社員の健康・安全に最大限配慮し、働く環境を整える等積極的に人材に投資し、モラルの高い社員集団を形成し続けています。

### ステークホルダーとの良好な関係

ステークホルダーとの対話を大切にしています。投資家との対話を積極的に行い、顧客や取引先の声に耳を傾け、ガバナンスの強化、商品・サービスの開発に活かしています。社員はもとより地域との信頼関係を大切に、長期的な企業価値の向上に取り組んでいます。

### 事業を再生する経営力

過去20年間で、20社以上の会社をM&Aでグループに取り込み、経営改善を進めてきました。ほとんどすべての会社がグループ入りする前よりも業績を伸ばしています。事業環境に合った柔軟な経営力によって、日本国内外の関係会社での業績向上を進めています。

### 信頼されるアサヒブランド

当社グループの金・銀・パラジウム・プラチナはグッド・デリバリー・パーとしての認定を受け、確かな品質が世界で高く評価されています。すべての事業において、クオリティの高い製品とサービスを提供し続けることで、信頼されるアサヒブランドを築いてまいります。

### グローバルに広がるネットワーク

1994年マレーシアに現地法人を設立して以降、韓国・中国・台湾などアジア各地に進出しました。2015年には北米の精錬事業をM&Aにより取得し、対象顧客は北米をはじめ世界各国に広がっています。2019年にはフロリダに新拠点を立ち上げました。

### 健全な財務体質

M&Aや積極的な設備投資に機動的に対応できるよう、財務の健全性を確保しながら成長してきました。1999年に店頭公開、2002年に東証一部に上場、2017年に公募増資を行い、資本の充実をはかり、未来の成長を支える財務体質を整えています。

# アサヒホールディングスのSDGs

## この手で守る自然と資源



### アサヒホールディングスSDGsの考え方

SDGs(Sustainable Development Goals、持続可能な開発目標)とは、2015年に国連で採択された経済・社会・環境をめぐる広範囲な課題への取り組みで、企業を含む社会全体で取り組むことが求められています。当社グループでは、SDGsで定められた17のゴールの中から事業を通じて以下のゴール達成に取り組めます。

## アサヒホールディングスのSDGs重点テーマ特定プロセス

<b>STEP 1</b> SDGs推進の開始	部門横断の「SDGs推進チーム」を編成し、SDGsの理解・検討を開始
<b>STEP 2</b> 事業とSDGsの関連性確認	各事業とSDGsの17のゴール・169のテーマの関連性を網羅的に確認し、チャンスとリスクの両側面を整理
<b>STEP 3</b> 重点テーマ・KPI案の検討	関連性の高いものについて各部門責任者と協議を実施し、2030年までの重点テーマおよびKPIについてSDGs推進チームにて案を作成
<b>STEP 4</b> SDGs重点テーマの決定	案を基に取締役全員によるディスカッションを行い、当社が取り組む重点テーマを決定

## SDGs重点テーマ

<b>1 貴金属リサイクルの拡大</b> 限られた地球資源をより一層有効に活用するために、貴金属リサイクルをグローバルに拡大・推進します。 ▶ P30	<b>4 CO<sub>2</sub>排出量の削減</b> 各拠点での省エネ活動や次世代カーへの切替え、CO <sub>2</sub> 低排出電力プランへの切替え等を通じて、グループ全体でCO <sub>2</sub> 排出量の削減に取り組めます。 ▶ P31、P33
<b>2 人・社会・環境にやさしい貴金属供給</b> 紛争鉱物を含まない原材料や貴金属含有スクラップから生産される人権や環境に配慮した貴金属製品の供給によって、持続可能な社会の発展に貢献します。 ▶ P14	<b>5 人材活躍の基盤充実</b> 働き方改革・健康経営・ダイバーシティ推進等により、多様な人材が活躍できる基盤を充実させて、働きがいの向上に努めます。 ▶ P34、P35
<b>3 廃棄物リサイクルの拡大</b> 廃棄物処理のエキスパートとして廃棄物リサイクルの拡大に努め、持続可能な循環型社会の実現に取り組めます。 ▶ P31	<b>6 SDGs活動の奨励・支援</b> 個人・グループによるボランティア活動等、本業以外でSDGsに貢献する活動を「アサヒホールディングスSDGs活動」として奨励・支援します。 ▶ P38